

## 単元名 5 筋道を立てて 一 根拠を示して説明しよう

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 自分の課題に必要な情報を集め、その中から適切な材料を選ぶことができる。  
 (2) 伝えたい事実や事柄、自分の意見や感想を明確にして分かりやすい文章にまとめることができる。  
 (3) 中学生について調査したいことを考え、それについて調べ、報告しようとする。

## 標準的な展開例

10210209\_001

| 学 習 活 動  | 留 意 事 項 など   |
|--|--|
| <p>1 レポートを書く課題を決め、材料を集めて記録する。<br/>         ○ レポートの形式や内容について確認する。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★中学生について調べてみたい課題を決め、情報収集の準備をしよう。<br/>         ○ 調べてみたい課題を探す。</p> <p>○ 課題についての資料や情報を得るための方法を考える。</p> <p>2 集めた材料を整理し、レポートの構成を確認する。<br/>         ○ 本時の学習課題をつかむ。<br/>         ★集めた材料を整理し、レポートの構成を理解しよう。<br/>         ○ 課題についての材料を整理して記録する。</p> <p>○ レポートの構成を確認し、「調査の結果」の内容を考える。</p> <p>3～4 レポートの構成に沿って文章にまとめる。<br/>         ○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★レポートの構成に沿って文章にまとめよう。<br/>         ○ 構成に合わせて材料を図表やグラフ、文章に表し、レポートにまとめる。</p> <p>○ レポートを推敲する。</p> | <p>・「レポートの例」(p. 140)を用いて確認する</p> <p>・報告する課題を決め、調査して材料を集めて整理し、レポートの構成に沿って文章にまとめるまでの一連の流れについて、「学習の見通し」(p. 138～p. 139)を読んで確認する。</p> <p>・「知多の友」を使用する。<br/>         ・「情報を整理して書こう」(p. 34)を参考に、マッピングなどの発想方法を提示する。<br/>         ・「発想を広げる」(p. 272)を参考に考えさせてもよい。<br/>         ・「知多の友」を使用する。<br/>         ・「アンケート調査の方法」(p. 274)を参考にし、課題に沿った情報収集の方法を選択させる。<br/>         【評】自分の課題に必要な情報を集める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・「知多の友」を使用する。<br/>         ・材料を集める活動では、学校図書館やコンピュータ室を積極的に利用させるとよい。<br/>         ・出典は必ず記録させる。<br/>         ・集めた材料から要点のみを箇条書きで書き抜くように助言する。<br/>         【評】課題についての適切な材料を選ぶ活動を通して、「知識・技能」を評価する。<br/>         ・「知多の友」を使用する。<br/>         ・集めた材料を内容ごとに分類させ、自分の課題について説明するためにはどの材料が必要か考えさせる。<br/>         ・「情報整理のレッスン」(p. 32)を再読し、情報の分類や比較の仕方、流れの整理の仕方を確認させたい。<br/>         ・「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」での学びを生かし、調査の結果と、結果に基づく考察や解釈のつながり方を確かめさせるとよい</p> <p>・「構成や展開の効果を考える」(p. 134)を参照し、構成の仕方や文章のまとめ方を確認させる。</p> <p>・「知多の友」を使用する。<br/>         ・「レポートの例」(p. 140)を参考にしてまとめさせる。</p> <p>・図表への表し方は、「統計資料の例」(p. 142～p. 143)を参考にさせる。<br/>         ・「調査結果」には事実を、「考察」には自分の考えをまとめるように助言する。<br/>         ・学校や学級の実態に応じて、次時をレポートにまとめる活動にしてもよい。<br/>         【評】調べたことや自分の意見をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>・「説明的な文章を読むために」(p. 266)を参考にさせ、表現の仕方や意見の述べ方を中心に推敲させる。<br/>         ・「読み手の立場に立つ」(p. 120)を参照し、推敲のポイントを確認させる。</p> |

- 5 グループでレポートを読み合い、内容を深め合う。
- 本時の学習課題をつかむ。
  - ★ グループでレポートを読み合い、内容を深め合おう。
  - グループを作りレポートを読み合い、助言し合う。
- 助言を読み合い、意見交換をして学習を振り返る。
- 学習の振り返りをする。

- ・ 「知多の友」を使用する。
- ・ 4人程度のグループを作らせる。
- 【評】 レポートを読み合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・ 友達のレポートを読んで、調べ方やまとめ方で気付いた点を挙げるなどして意見交換をさせる。
- ・ 「学習を振り返る」(p. 141)を活用して学習を振り返り、自己評価をさせる。

【 備 考 】

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ、考えを深めることができなくなる。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。